

施策評価管理シート

2015(平成27)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
企画財政部	森岡 千枝	63-7389 (総合企画政策室)

施策体系	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本施策	4	広域連携の推進
	施策	1	広域連携

1. 施策の基本方針 Plan

- ・伊賀市との広域的な連携を強化し、多様な主体とも協働して、魅力ある圏域づくりに取り組みます。
- ・名張川流域の周辺地域との連携を強化して、多様な交流を積極的に促進します。
- ・近畿と中部を結ぶ結節点として地域間ネットワークの創造に取り組みます。

2. 目標

○重点目標 Plan

- ・伊賀圏域における政策連携を推進し、産業、消防・救急など、効果効率的な広域行政を展開します。
- ・名張川流域の周辺地域など、県境を越えた連携・交流を進め、集客向上や新たな産業創出、地域経済の活性化に取り組みます。
- ・三重県の西の玄関口として、関西圏への戦略的な情報発信を行うなど、東西の地域を結ぶ拠点機能の向上に取り組みます。
- ・能楽や乱歩にゆかりのある地域との多様な分野における交流ネットワークを深め、地域資源の有効活用と全国への情報発信に取り組みます。

○目標達成に向けた課題 Plan

- ・近年、災害や事故の態様の多様化や大規模化が進む中、こうした事態への迅速・的確な対応と行財政上の様々なスケールメリットの実現を目指し、伊賀ブロックでの消防広域化について引き続き検討を進める必要があります。
- ・伊賀圏域の二次救急医療について、隣接する奈良県の周辺地域等との連携も含めさらなる充実を目指す必要があります。
- ・江戸川乱歩とゆかりのある東京都豊島区との交流を強化する必要があります。

<行政評価委員会からの意見>
意見なし

○施策指標 (目標) 及び達成状況 Plan Do

施策指標 (目標) の内容 (単位)		現状値 (H20)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	進捗率
名張市周辺の市町村の公共施設 (教養・文化・レクリエーション施設・温泉施設等) を利用した市民の割合 (%)	目標	-	-	66.0	-	-	68.0	
	成果	64.2	61.4	63.2	68.8	69.9		100%
伊賀圏域において共同処理している事業数【延べ値】 (件)	目標	-	-	5	-	-	5	
	成果	4	4	4	4	4		0%
環境や防災など近隣市町村等と共同で取り組むことが効果的な分野で、連携が行われている件数【延べ値】 (件)	目標	-	-	14	-	-	16	
	成果	12	13	14	14	14		50%
地域間交流による文化・物産等の共同事業への参加回数【延べ値】 (回)	目標	-	-	41	-	-	69	
	成果	8	38	53	86	121		100%
伊賀市をはじめ広域的な交流活動が活発に行われていると感じる市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	-	40.0	
	成果	-	34.7	35.8	38.0	36.0		25%

3. 取組内容

○課題解決への取組内容 **Do**

- ・伊賀ブロック消防広域化の取組については、運営計画策定委員会の企画財政部会や警防通信部会等の会議を再開し、広域化に向けた協議を行いました。
- ・名張市長・伊賀市長、二次救急医療を担当する伊賀地域内の3病院長、三重大学学長等が出席する「伊賀地域の医療のあり方に関する懇話会（平成27年1月）」が開催され、地域の医療提供体制の将来のあるべき姿について意見交換がなされました。
- ・江戸川乱歩生誕120周年を記念し、三重大学による公開セミナー（平成27年1月）や乱歩生誕地碑広場を会場とした市民団体による記念イベント（平成26年10月）等が開催されました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>
意見なし

○地域等との連携、協働に向けた取組 **Do**

- ・江戸川乱歩生誕120周年を記念したイベントが、市民団体等が主体となり開催されました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 1 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価	
					事務事業の施策への貢献	地域づくり組織等との連携・協働	事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
6014	広域連携推進事業	総合企画政策室	0	190	C	該当しない	継続(改善)	C	B
合計(単位：千円)			0	190					
小計(うち、一般会計分)			0	190					
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0					

5. 部局による施策評価

Check

評価
事業推進の一部改善
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月の伊賀ブロック消防広域化に向け、両市での協議を再開しました。 ・伊賀流忍者の発信や、名張市を拠点とした県内市町の観光・物産PRの取組など、伊賀市をはじめ県内各市町との広域的な連携により、全国に向けた地域資源の情報発信に取り組むことができました。 ・東京都豊島区寄贈桜(ソメイヨシノ)市制施行60周年記念植樹を平成26年11月に実施しました。

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

- ・伊賀ブロック消防広域化について、今後は県の指導・支援も強化されることも予想される中、平成30年4月の広域化を目標に、両市での広域化に向けた検討を進めます。
- ・伊賀市名張市広域行政事務組合について、より効果・効率的な政策連携を目指した施策展開等、両市において各種提案・協議を行う必要があります。
- ・平成26年度の事務事業見直しの取組の結果、平成27年度から「東大寺建立にかかわった市町村サミット実行委員会」を退会する手続きを進めましたが、県境を超えた広域的な取組も視野に入れながら、集客・交流人口の拡大や地域経済の活性化を目指した取組を進めます。
- ・地域資源を活用した地域活力の創生を図るため、東京都豊島区等との都市間交流・連携の更なる強化を目指す取組を進めます。
- ・伊賀市を中心市とする定住自立圏構想について、慎重にその対応を検討します。